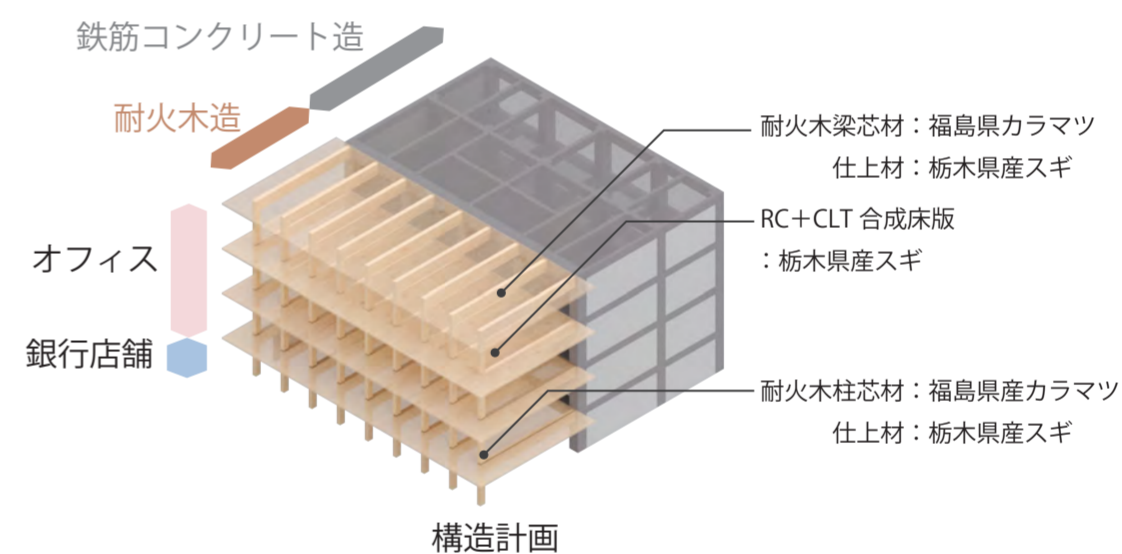
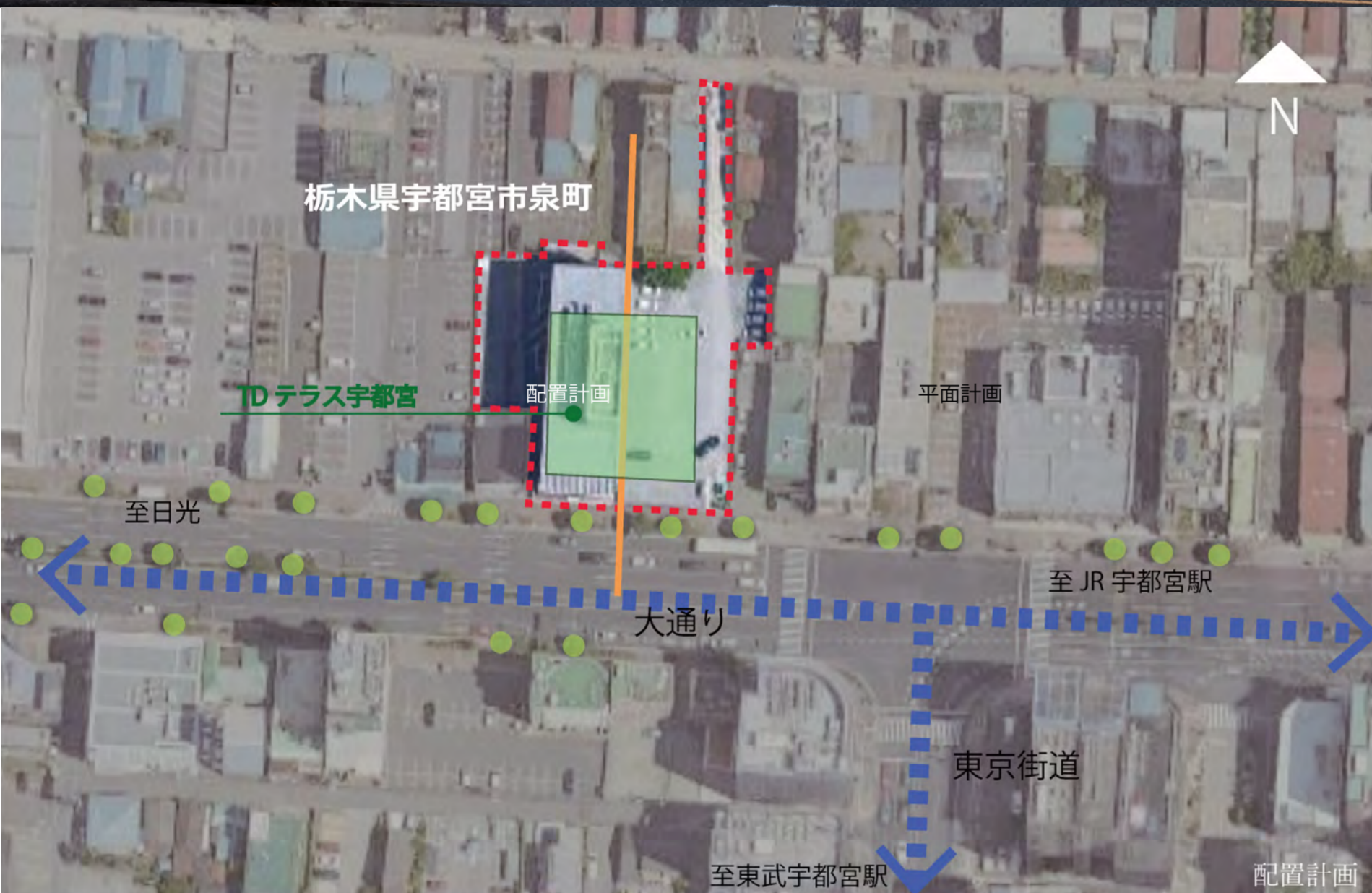


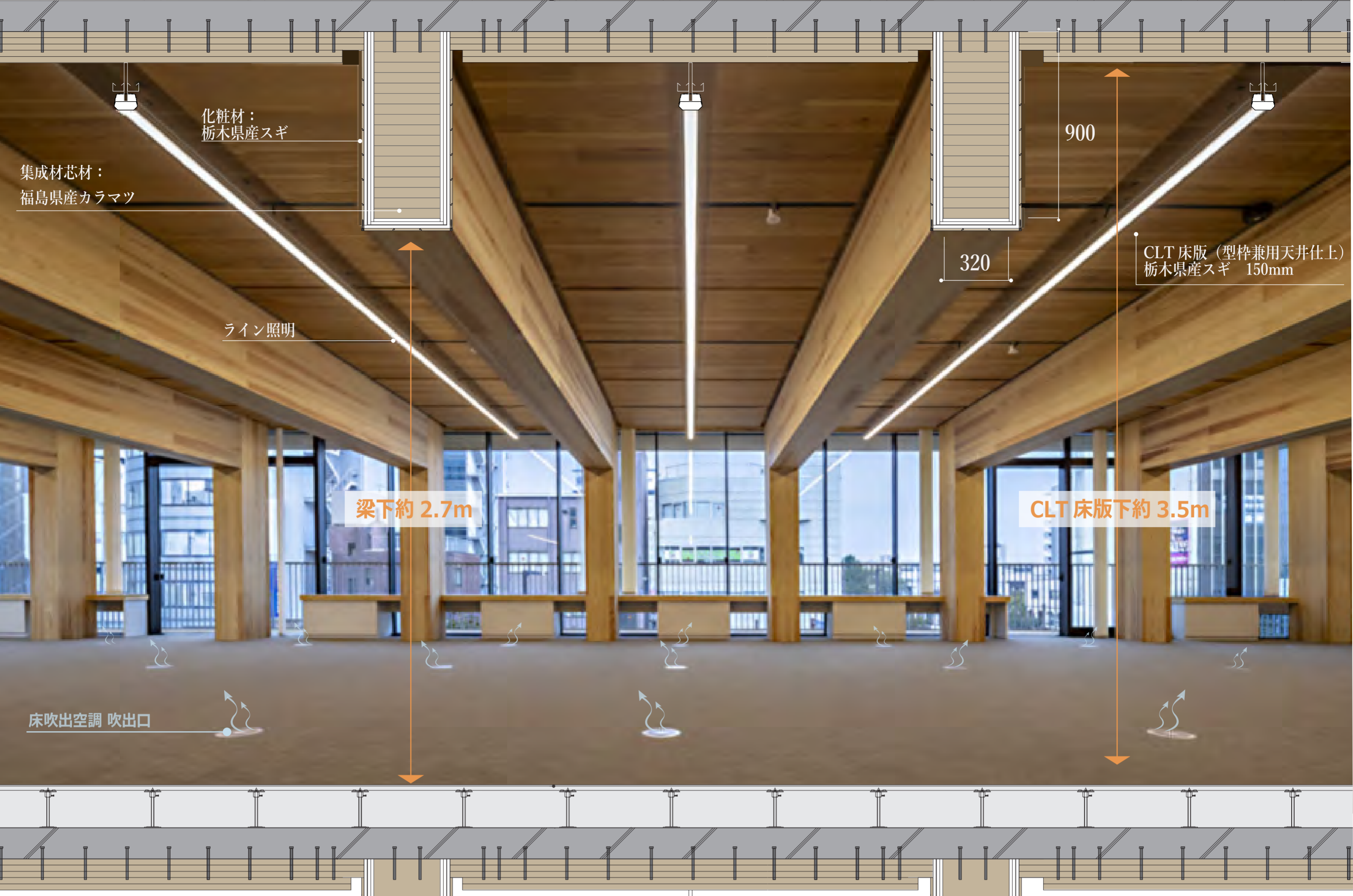
# TDテラス宇都宮

～地域の森が育てた木の構えを魅せる～



宇都宮市大通りを南側に望む敷地。中心部に平坦地が広がり「自転車のまち」といわれる街に珍しい坂道の途中に、第一生命保険（本社 東京都）栃木支社ビルと東邦銀行（本店 福島市）の駐車場があり、通りにはトチノキが立ち並んでいました。本計画は、「木質建築」を契機に二つの事業者が結びついたプロジェクトであり、1階に東邦銀行の店舗、2～4階に第一生命保険の栃木拠点が入居しています。都市部での建物に必要な耐火性能を有した耐火木造の建設は、**生命保険・銀行業界初の試み**です。地方創生や地域活性化に取り組むクライアントの要請に応え、地産地消にこだわり、「**福島のカラマツで構え・栃木のスギで包む**」「**福島の工場づくり・栃木の職人が組み上げる**」「**地域の森育ちの木の構えを街に魅せる**」といったコンセプトを掲げました。福島県集成材メーカーの尽力により、プロジェクトに馴染み深い栃木県八溝山系のスギをCLT床版・内装材として、福島県南会津産のカラマツを柱・梁の芯材として調達することができました。地場産材の活用に限らず、ヒトを含めた地域資源を活かすことも大切だと考えました。耐火集成材は、すべて福島県の工場が製作し一部を復興地 浪江町の工場に参画頂きました。施工精度確保のために取組んだ集成材柱・梁の仕口部の工夫は、栃木の職人たちが組み上げる建方施工につながりました。施工現場を彩ったのは、地元の文星芸術大学の学生が描いた木質建築にまつわるヒトに焦点を当てた仮囲いアートでした。学生も地域の大切な資源と考えました。地域経済に貢献する事業者の建物であるからこそ、地産地消型のサプライチェーンにこだわることが関係者が共有した思いでした。この思いを街に分かりやすく伝えたいと考えました。堅牢なRCラーメン架構から大通りに向かって木を架ける構造計画、木架構の間にCLTパネルを落とし込み天井とする内部空間、内部空間を縁取る木質バルコニー、これらによって**坂道から仰ぎ見る軒のファサードとトチノキ並木とともに建つ新たな景色**を提供できたのではと思っています。

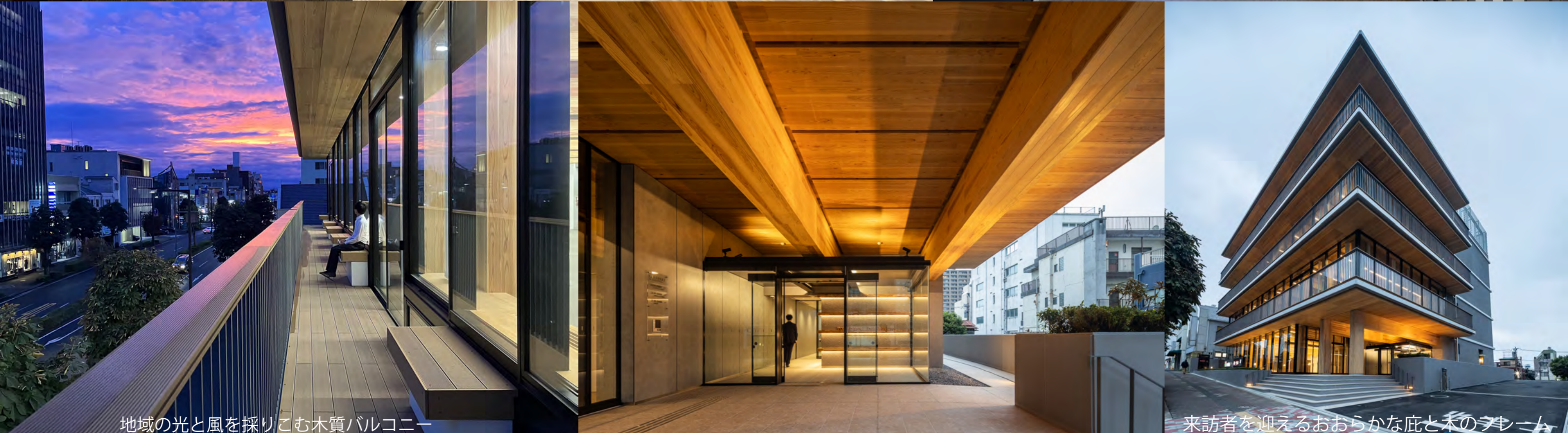
<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p>光と風と繋がる共用部</p>	<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>太陽光パネルの設置</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> <p>木そのものに包まれた店舗・オフィス</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>業界初の耐火木造建設</p>
<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> <p>RC造との混構造</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> <p>既存建物の地下躯体残置</p>	<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> <p>木質化によるCO2固定化</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p> <p>管理された森からの恵み</p>



福島の木で構え、栃木の木で包んだ、木そのものに囲まれたオフィス



端材・廃材を利活用し、ウェルビーイングの向上を促す共用部



地域の光と風を採りこむ木質バルコニー

来訪者を迎えるおらかな底と木の光

<建築主>  
 地場産材活用による 地方創生・地域活性化への貢献、  
 施設利用者のQOL向上・健康経営への寄与を意図した。  
 木のぬくもりのある 明るい空間と感じている。

<設計者>  
 水平ラインと奥に伸びる木の架構によって  
 トチノキ並木の景観に参加している。木質化による  
 CO2の固定化によってSDGsへの貢献を街に伝えている。

<施工者>  
 清水建設が保有する木質ハイブリッド技術を活用した。  
 社内外関係者の創意工夫で地元の工場や職人のご協力を  
 頂き、完成させることができました。